

## 避難器具の概要表

防火対象物の概要表												
名称					所在地							
用途					階数(階層)		地上	階	地下	階	塔屋	階
主要構造部		耐火建築物・簡易耐火建築物・その他の建築物( )					延べ面積		m <sup>2</sup>			
避難器具の概要												
階別	床面積	用途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免数	設置数	避難器具の種別(個数)				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
								は( )・袋( )・緩( )				
避難器具の種別												
型式番号		第	号	第	番号	第	番号	第	番号			
設置場所の状況 (用途・構造等)												
開口部の大きさ 縦×横 (cm)		×		×		×		×				
腰高 (cm)												
操作面積 (m <sup>2</sup> )												
固定位置												
固定方式												
固定部材にかかる 設計荷重 (kgf)												
固定部材の許容応力 (kgf)												
その他												

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。  
 2 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の( )内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。